

ブナの結実調査について

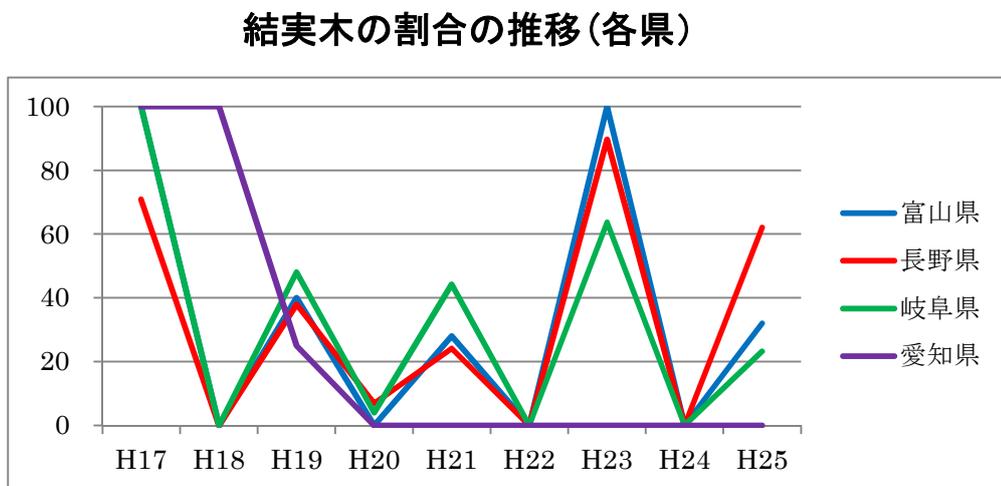
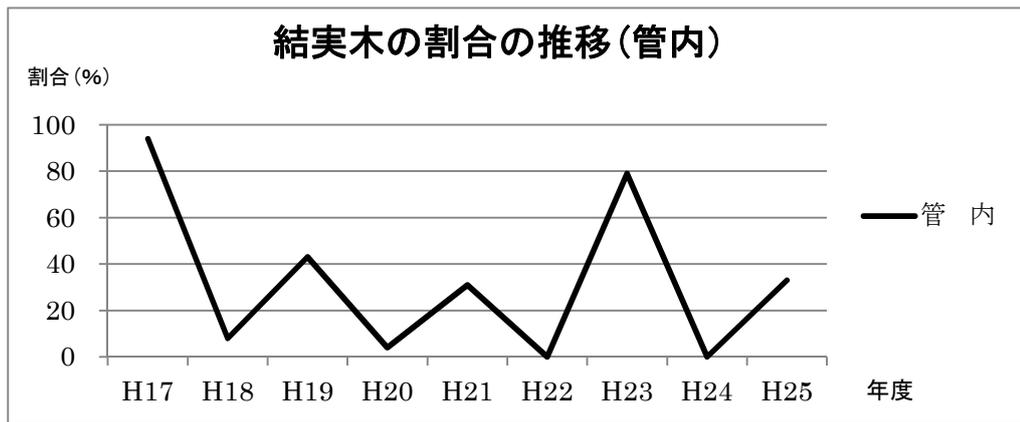
中部森林管理局では、平成17年度から管内国有林の主要地点においてブナの結実調査を行っています。

1 結実木の割合について

平成25年度は110地点で調査を行いました。このうち36地点で半分以上の木に結実が確認され、全体に占める割合は36パーセントでした。

また、平成17年度からの推移をみると毎年増減を繰り返し、17年度と23年度は豊作年であったことがうかがえます。

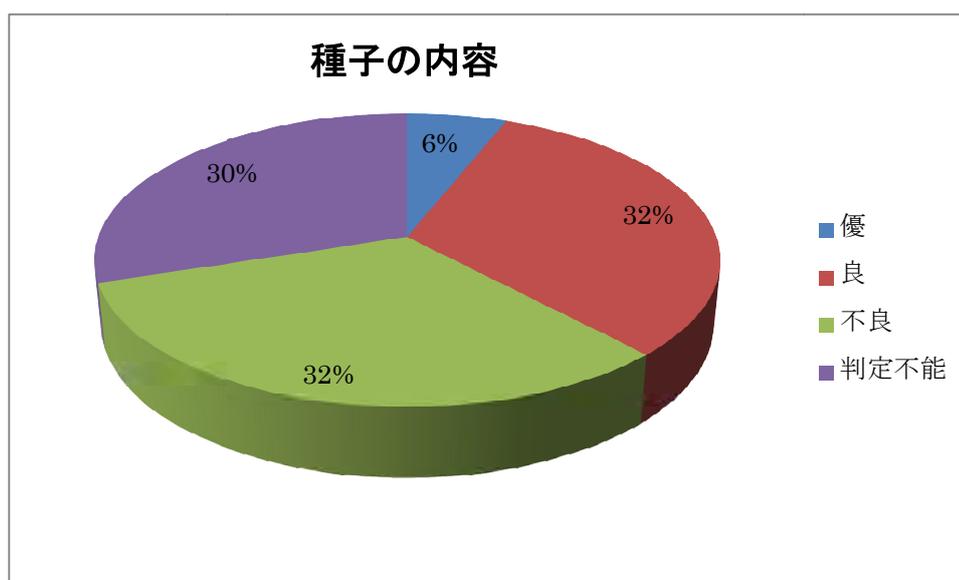
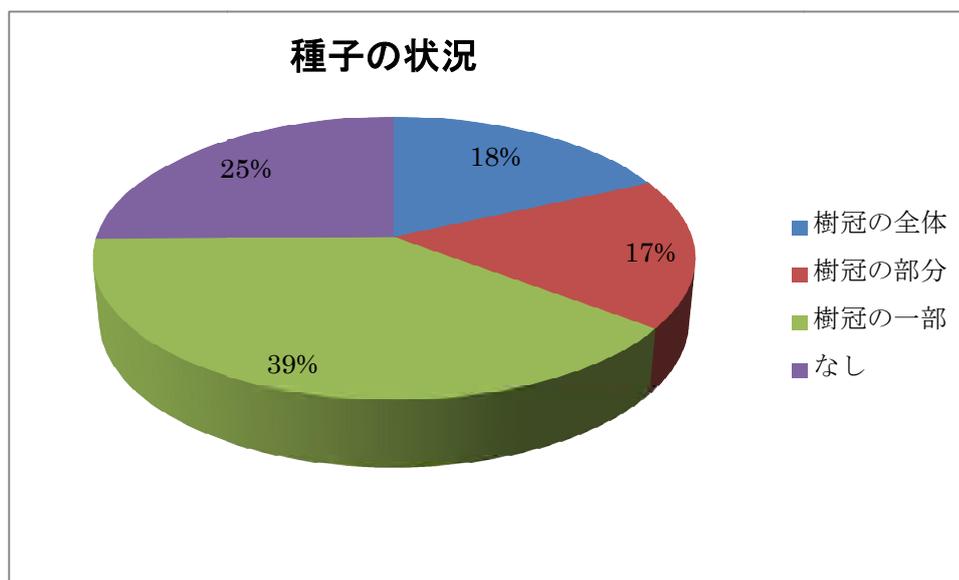
25年度の県別では、長野県が約62パーセントと最も高く、富山県、岐阜県は30パーセント前後となっており、愛知県ではここ5年間はわずかな木に結実、または結実しない状況で推移しています。



2 結実木の状況等について

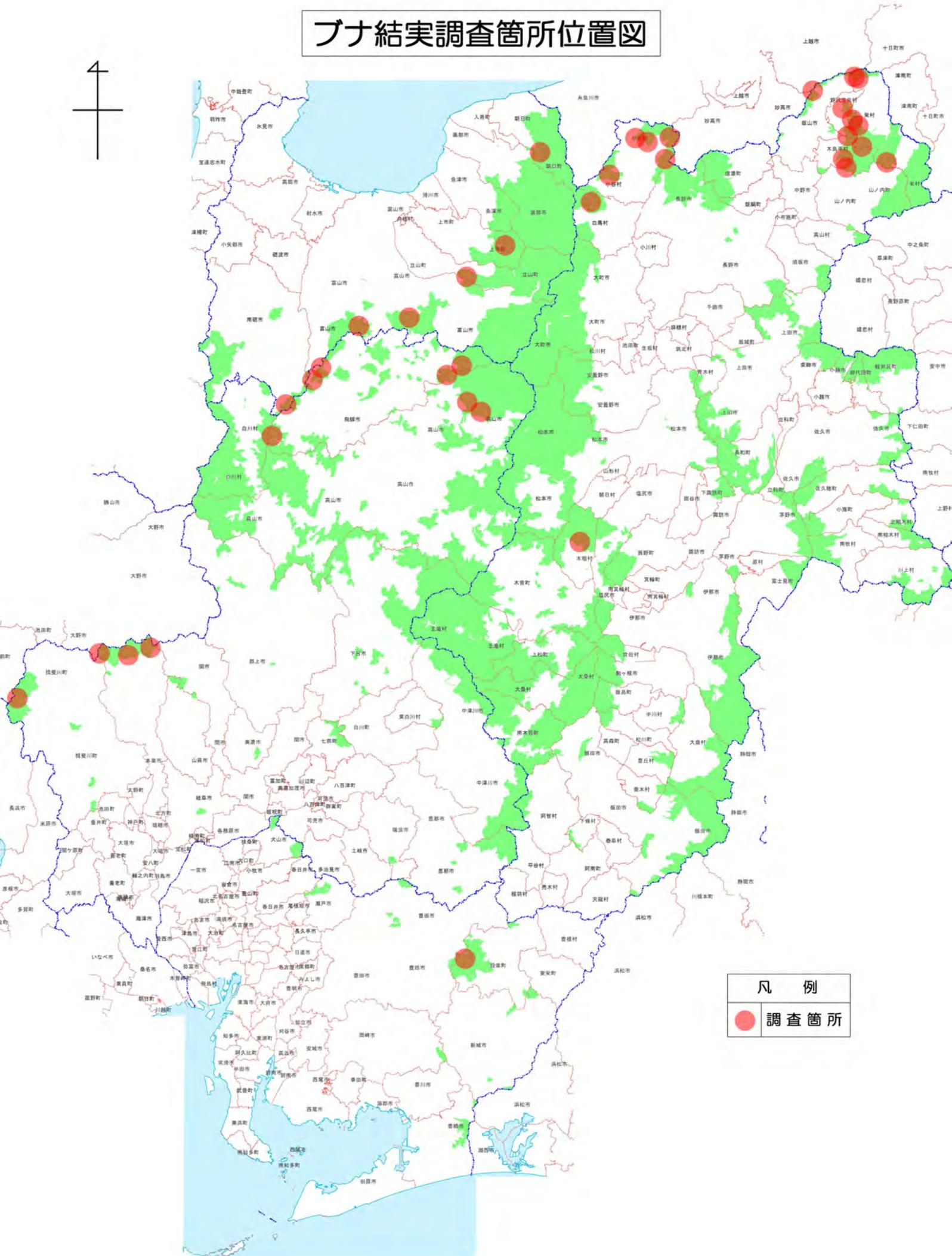
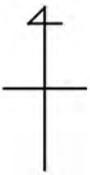
結実木の種子の状況について、25年度は樹冠（枝を伸ばして葉を茂らせている状態＝冠状の構造）全体にたくさんの種子がつく、または、上部に多くの種子がついた割合は35パーセントと、およそ3本に1本は木の枝に多くの種がなっていたこととなります。

また、地表に落下している種子のシイナ率（種子を割って中身がないもの「シイナ」といい、100粒の落下種子に対するシイナの割合を「シイナ率」として算出）の調査を行い、種子の半数以上に中身がつまっていた割合は38パーセントでした。



—お問い合わせ先—
森林整備部技術普及課 担当：黒田
代表：050-3160-6500(内線 2624)
ダイヤルイン：050-3160-6548

ブナ結実調査箇所位置図



凡 例	
	調査箇所